NIE実践報告

1．タイトル：☆コラムに親しもう

2．学校名

北海道旭川市立光陽中学校

3．実践者名（代表者名）

枡谷国利

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　108人

6．単元（本時の学習課題）名

コラムと注目の記事を読む

7．目標（狙い）

新聞社4社のコラムを読むことにより、記者がその日に注目したニュースがわかり、それぞれの新聞社の考え、書き方、注目するニュースの違いがわかる。

8．評価の視点

各社のコラムの考え、書き方、ニュースの違いをとらえることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間（朝読書8時25分～ 35分）週に1回を5回実施。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①毎日新聞社　余禄　11月6日発行、注目記事「ツタンカーメン」「印税使いバスケ奨学金」
②朝日新聞　天声人語　11月10日発行、注目記事「北海道弁由来わかった」「顔」
③北海道新聞社　卓上四季　11月12日発行、注目記事「マンドリン伝統の音」「農業体験の宿泊施設に」
④毎日新聞社　余禄　12月5日発行、注目記事「どげんかせんといかん」「電飾好きイルミネーター今や100万人」
⑤読売新聞社　編集手帳　12月12日発行、注目記事「照明の洪水で夜空に星見えず。これ光害です「使用済みの携帯都市の鉱山」

（留意点）
・始めは読んだ感想や気がついたことをまとめて書く。
・何社かのコラムを読むうちに、各社の比較をして感想を書く。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

ほとんどの生徒はよく読んでいたが、なかにはほとんど新聞には触れたことのない生徒もいた。また、事件を自分の身に置き換えたり、新たな疑問が湧いたりしていた。

12．成果と課題

新聞に触れる機会が増えたことはもちろんのこと、記事を読むだけではなく、それに対しての意見を持てるようになった。中学生にとっては難しい内容のコラムや、4社のコラムを読むには時間が短いので、コラムの選定に課題が残る。